

平成28年度 命の大切さを学ぶ教室

「自転車走行の危険について」

江別警察署 横岸澤 龍二 氏

「インターネット利用に起因する犯罪の防止について」

” 森澤 良介 氏

「命の大切さを学ぶ講話」

” 遠山 理沙 氏

平成28年4月20日(水)、本校体育館において、講師に江別警察署の横岸澤龍二氏、森澤良介氏、遠山理沙氏の3名をお迎えして「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。

横岸澤氏からは「自転車走行の危険について」、森澤氏からは「インターネット利用に起因する犯罪の防止について」、遠山氏からは「命の大切さを学ぶ講話」という演題で講話を頂きました。スライドやVTR上映などを使用し自転車での死亡事故の発生やそれに伴う多額の損害賠償の実態やインターネットの不適切な利用による事件の数々、命の大切さについて考えさせられる内容に、高校生が被害者にも加害者にもならないための心構えや命を大切にす意識が高まる有意義な2時間となりました。



～生徒の感想より～

今回、命の大切さを学ぶ教室で、人の命はかけがえのないものということ学びました。そして、儚いものだということも知りました。初めて見たビデオでは、朝なんともなく出て行った女の子がそのすぐ後に事故に遭ってしまい残された家族がどれほど悲しい思いをしたかがとても伝わってきました。交通事故で家族を亡くした人たちの人生を狂わせてしまうようなことが少しでも無くなるように願うばかりです。

SNSやインターネットに面白おかしい写真や動画を載せ犯罪を犯すことはとても愚かなことだと思います。後先を考えて行動することがとても大事だと感じました。若い人達は面白ければ良いなど、軽く考えて行動をしてしまう人が多いので、こういったビデオで最悪のケースを教えることは良いことだと思います。

ゴルゴさんの漢字の授業はいつもはまったく気が付かずに使っていた漢字で夢や希望を教えてくれるような授業でとても素晴らしいと思いました。(3年女子)

本日の講話は事故の危険性と儚さ、そしてネット社会が及ぼす悪影響について有り難い話が聞けました。私は幾度となく繰り返し耳に入る交通事故の実態を聞き交通事故がなぜ根絶されないのかと疑問を抱きました。身近な交通事故といえば第一に自転車が思いつきます。音楽を聴きながらや余所見をしながら、横一列に並んで運転するなど知れ渡っている危険が沢山あります。自転車のみならず交通事故にも様々なシチュエーションがあり多くの血と涙が流れています。交通事故は故意の傷害ではないことが悲しいです。街角からいきなり人が現れて自転車や車で偶然轢いてしまったなどよくある事例ですが、この上ない悲劇だと思います。スピードを落とせば人を轢くことはないということを知っていたとしても事故に遭わない人間はそういません。交通事故を100%防ぐこと

は不可能だと思うので、私は今回の講話を聴き、せめて自分は交通ルールを守って事故遭遇率を上げないようにしようと思います。

ネットは情報交換やビジネスにおいてとても便利なものだと思います。しかし、ある程度使い方を知っていたら小学生でも利用できるところが最も危険なところ。無知や間違った人がこれらを扱うことによって様々な問題が生じます。「自分の名を世間に広めたい」などと思う人達が個人情報を流出し、トラブルの原因を作っています。今回の教室のような正しい知識や正しい利用方法を学ぶことが大切であると思いました。

(3年男子)

誰でも免許や資格を持っていなくても運転できて、一見安全そうに見える自転車。しかし、判断ミスや周囲への注意を怠ると一瞬にして加害者や被害者になってしまう危険なものだということが分かりました。女子高生が周りへの注意に気を配っていなかったせいで高齢者とぶつかってしまい、一瞬で加害者となり多額の賠償金を背負うことになった例がありましたが、私もイヤホンで音楽を聴きながら帰ることがあるので、例の女子高生のようにならないよう気を付けたいと思いました。

私たち高校生は大体の事は「してはいけないこと」「良いこと」というのは分かります。しかし今回の講話で普段の常識以外にも気を付けるべきことが多くあると思いました。インターネットですが、これは私が今、最も気を付けなければならないものだと感じています。最近はネットでの出会いや変なサイトからのフォローが多く見受けられます。便利なものだからこそ怪しいサイトなどに気を付けるべきです。私も3日前くらいに、変なサイトを見たわけでもないのに出会い系の人らしき人物からフォローが突然きてしまい恐怖心を抱きました。ネットは相手の顔を直接見れる訳ではないので若い世代の私達はネットを信じすぎるのを止めた方が良いと思いました。

最後に命の大切さについて学んだのですが、私が一番記憶に残ったのは「始」の漢字です。母がお腹を痛めながらも一生懸命産んでくれたのにそれを粗末にするなんて最大の親不孝だと思います。私は辛いことがあっても今日聞いたことを思い出し、頑張って生きていこうと思いました。

(2年女子)



今回の講話では、最初に自転車の交通ルールについての〇×クイズが行われた。僕はあまり正解できなかったので、これから正しい知識を身に付けなければならないと思った。その次は、交通事故によって命を落とした娘の父親である風見しんごさんのDVDを観た。内容は、風見しんごさんの娘えみるさんが、ある日交通事故に遭い死亡してしまった時の再現VTRとその時の風見さんの心境を語った映像などだった。そのVTRで命の大切さを改めて知り、風見さんが交通事故を一つでも減らすために活動していることなどでかなり感動できるものだった。

次の講話はインターネットに関することで、主にSNSによる被害のことだった。昔ニュースになったような、お店の中でバイトの店員がふざけた写真をSNSにあげて問題になった事件のVTRを観た。動画のアクセス数を増やしたいがためにインパクトのある写真をSNSにあげて大炎上し、画像を消してアカウントを消せば大丈夫だろうと思っていたら画像がネット上に残り続けるという恐ろしいものだった。インターネット

の恐ろしさを改めて知ることとなった。

最後にはお笑い芸人のゴルゴ松本さんの漢字を使った講話のVTRを観た。ゴルゴさんは「夢ってというのは、最初は弱音や愚痴などプラスやマイナスのことを吐いていって、だんだんマイナスのことを言わなくなり叶うんだ」というお話だった。「吐」という漢字からマイナス(－)を抜くことで「叶」というのはよくできているなどと思った。様々なお話やVTRを観て、命の大切さを改めて知ることになり、とても有意義な時間だった。
(2年男子)

まず、自転車走行の危険についてですが、今回の話を聞いて「自転車も車の仲間」で「怖い乗り物」ということを理解しました。そして、インターネットと自転車に共通して言えることは、自分が「これくらいいいや」と思っている加減に利用しているとトラブルになる可能性が高いということです。自転車は事故に遭うかもしれない。ネットは自分の個人情報が出て大変なことになるかもしれない。そんな当たり前のこと考えなくても分かるような気がします。そういうことをしたくなるお年頃なんだなとも思いました。

そして、命の大切さの講話で出てきた風見しんごさん。子供を亡くして本当に辛かったと思います。残されたもう一人の子供に不安を、悲しみを、辛さを悟らせるようなことになってしまったのか分からないでもありません。でも、残されたもう一人の子供がとても可哀想だと思いました。

最後にスキー授業で事故にあった先生。やっぱり五体満足が一番近くて一番気付きにくい幸せであると改めて思いました。私達にとってはこれが普通でも、あの人にとってはこれが幸せ。人の価値観はこんなにも違うんだと思いました。小さくて大きな幸せに気付くことが出来る大人になりたいと思いました。
(1年女子)

交通安全やネットでのマナーなどは中学校や小学校でも教えてもらっていたので、自分なりに気を付けているつもりでした。しかし、今こうやって振り返ってみると、まだまだ甘いところがあったり、自分が気を付けるのは勿論のことだが、友達が歩きスマホなどをしていたら、呼びかけをするのもとても大切なことだなとも思いました。

僕が今日の講話で一番印象に残っているのは最後の「命の大切さを学ぶ講話」です。中でもゴルゴ松本さんの授業が一番すごかったです。もしかしたら、まだ夢がない人もいるかもしれないけど、きっとほとんどの人がいつか夢を持つと思います。しかし、どんなに沢山の人が夢を持っていても、その夢を叶えられるのはごく一部の人で大体の人は夢を叶えることが出来ずに諦めてしまいます。でも、ゴルゴ松本さんのお陰で夢を叶えるためには諦めずにどんな辛くても努力を続けることが大切だと気付きました。

人生というのは一度きりで夢を叶えるために努力するのも命あってのものだと思います。これからは今まで以上に命を大切にして、毎日を大切にそして楽しく過ごしていこうと思いました。
(1年男子)

